
1回診断しただけで安心していませんか？

義務化が始まったWeb脆弱性診断の

ベストな頻度 とは？

はじめに

本日は本ウェビナーにご参加いただきありがとうございます

Q&A

アンケート


- ウェビナー中、お困り事がありましたらQ&Aにてご連絡ください。
- お客様のQ&A投稿、お名前、音声や画像が他の参加者様に届くことはございません。
- 質疑応答セッションは後に設けておりますが、ご質問はいつでもご投稿いただけます。
- ウェビナー終了後、アンケート回答にご協力をお願いいたします。
- 本日の講演内容についてご質問のある方は、Zoom退出時に表示されるアンケート内にコメントをいただければ、後日回答させていただきます。

タイム
テーブル

16:00	ご挨拶
16:05	本題
16:25	質疑応答
16:30	終了


手を挙げる


チャット


Q&A


詳細

登壇者紹介



株式会社エーアイセキュリティラボ

CX本部 マネージャー **笹森 俊樹**

外資医療機器メーカー・国内製薬メーカーにて営業責任者、医療向け経営支援企業にて経営コンサルタントを務めた後、IT業界に転身。

株式会社SHIFTにて、海外拠点でのPM業務を含む多様なシステム開発案件を経験し、SaaS企業でのカスタマーサクセスマネージャーを経て、エーアイセキュリティラボに入社。現在はAeyeScan導入前後のお客様に向けたコンサルティングに従事。

| セキュリティ対策の必要性は増している

DXの進展やサプライチェーンリスクの拡大により、
企業に求められるセキュリティ対策は高度化・複雑化している



- デジタルサービスの増加により、Web開発そのものが増加
- クラウド、SaaS、APIの活用が進み、システムが複雑化
- 企業規模に関わらずサプライチェーン全体でセキュリティ対策が必須
- アジャイル開発やDevOpsの普及により、リリースサイクルが短縮

しかし…

! 今のやり方では追いつけない状況

- セキュリティ人材が不足
- 外注だと時間とコストがかかる

EC加盟店を対象とした脆弱性診断は、ついに「義務化」がスタート

3月4日、クレジットカード取引に関わる事業者が実施すべきセキュリティ対策を定めた「クレジットカード・セキュリティガイドライン」が改訂された。

2. 主な改訂内容

EC加盟店の取り組み

クレジットカード情報保護対策

EC加盟店は、これまで実施してきたセキュリティ対策に加え、システムやWebサイトの脆弱性対策を実施する。

商品・サービス・金額等が掲載され
消費者が閲覧するWebサイトや
LPなどのWebページも対象

カード情報を保持していなくても、脆弱性対策の不備によるカード情報漏えい事案が発生していることから、ECサイトだけでなく、Webサイトへの「脆弱性対策」の実施が指針対策に追加された。

具体的に何をすればいいの？

Webサイトに実施すべき脆弱性対策（抜粋）

脆弱性診断又はペネトレーションテストを定期的の実施



- 脆弱性診断又はペネトレーションテストを定期的の実施し、必要な修正対応を行う。

最新のプラグインの使用やソフトウェアのバージョンアップを行う



- SQLインジェクションの脆弱性やクロスサイト・スクリプティングの脆弱性対策として、最新のプラグインの使用やソフトウェアのバージョンアップを行う。

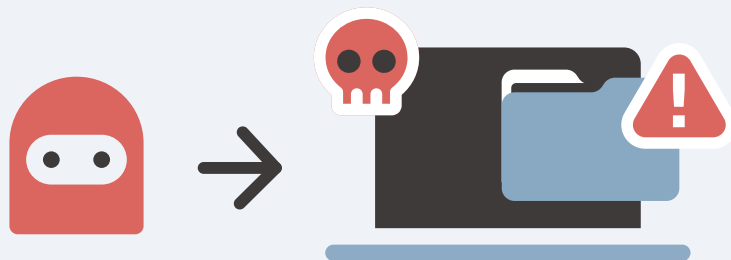
入力フォームの入力値チェック



- Webアプリケーションを開発又はカスタマイズされている場合には、セキュアコーディング済みであるか、ソースコードレビューを行い確認する。その際は、入力フォームの入力値チェックも行う。

そもそも、脆弱性診断（セキュリティ診断）とは？

脆弱性を突いた攻撃を受けた際に、被害につながる可能性がないか検証すること



システムやアプリケーションに潜む脆弱性を放置していると、サイバー攻撃を受けて企業の機密情報や個人情報が漏えいする危険性が高まる。

脆弱性診断は、Webサイト・サーバ・ネットワークに実施する必要がある。

中でも頻繁に改修がなされ、攻撃対象として狙われやすいWebサイトには定期的な診断が必要。

そもそも、脆弱性診断（セキュリティ診断）とは？

1 Webサイト構築時

まず、Webサイトの設計・開発時に可能な限り脆弱性を解消しておく。



2 Webサイト運用時

運用中に発生する問題に対応し、Webサイトの安全性を維持する。



IPAによる「安全なウェブサイトの作り方」を参考にすることで、自社開発でも外部委託でも同じ基準でセキュリティ対策が可能

- ✓ IPAへの届出件数が多い脆弱性を取り上げている
- ✓ 脆弱性を解消する解決策のほか、攻撃による影響の低減が期待できる保険的対策も紹介

| そもそも、脆弱性診断（セキュリティ診断）とは？

1 Webサイト構築時

まず、Webサイトの設計・開発時に可能な限り脆弱性を解消しておく。



2 Webサイト運用時

運用中に発生する問題に対応し、Webサイトの安全性を維持する。

運用中は、定期診断を実施しつつ、リリースや機能改修時も必ず脆弱性診断を行う



年に1回の
定期診断

+



リリースや
機能改修時

Webサイトで扱う情報の重要度を踏まえて頻度の検討を！

定期的な脆弱性診断を阻む課題

脆弱性診断は定期的・継続的な実施が重要である一方、運用には課題も…



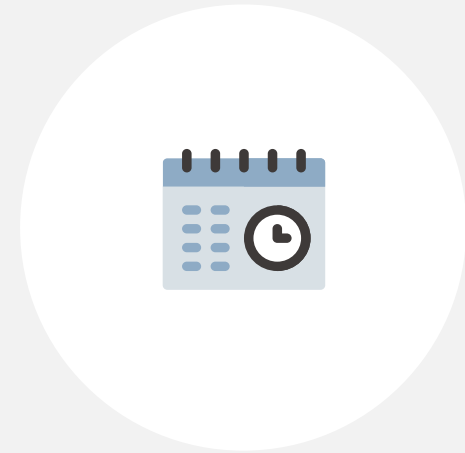
専門知識と技術の不足

すべての診断を外部ベンダーに依頼していると、実施するたびにコストがかさむ



専門人材不足

社内に専門知識を持つ人材がおらず、セキュリティ担当者の負担が大きくなる



スケジュールが合わない

柔軟なスケジュール調整ができず、診断待ちでリリースが遅れてしまうことも

ツール活用による「脆弱性診断の自動化」で解決！

専門知識がなくても、いつでも、誰でも社内で診断が可能に。
コスト・工数をおさえつつ、高頻度な診断を実現！

 **AeyeScan** (エーアイスキャン) により
セキュリティ対策にかかる **コストを削減！**



クラウド型Webアプリケーション
脆弱性検査ツール

国内市場シェア
No.1※



※ 富士キメラ総研調べ「2024 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 市場編」Webアプリケーション脆弱性検査ツール〈クラウド〉2023年度実績
※ ITR調べ「ITR Market View：サイバー・セキュリティ対策市場2024」SaaS型Webアプリケーション脆弱性管理市場：ベンダー別売上金額シェア（2022年度実績）

プロが認める品質・精度



ブラウザ上での直感的な操作

セキュリティベンダーやSIerでも
顧客向けサービスとして活用

専任エンジニア不要、情シスや開発部門でも
安定した運用が可能

さまざまな企業さまに導入いただいております

ユーザー企業

製造



インフラ



金融



メディア



エンタメ



SaaS



SI・IT企業



セキュリティ企業



生成AI時代の脆弱性診断なら AeyeScan

クラウド型Webアプリケーション
脆弱性検査ツール

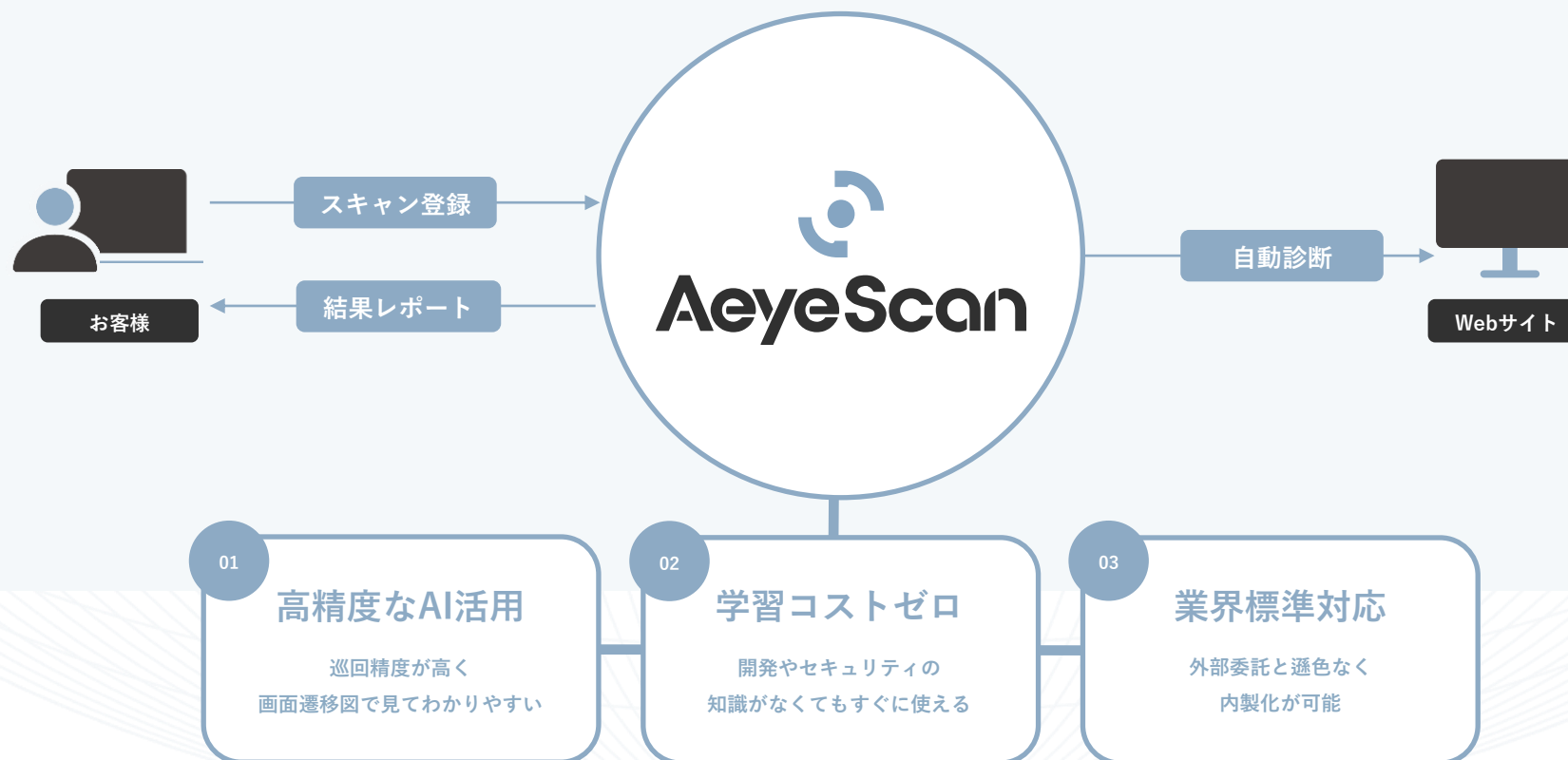
国内市場シェア

No.1※

※富士キメラ総研調べ「2023ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 市場編」
(Webアプリケーション脆弱性検査ツール(クラウド)2022年度実績)

※ITR調べ「ITR Market View：サイバー・セキュリティ対策市場2024」SaaS型
Webアプリケーション脆弱性管理市場：ベンダー別売上金額シェア（2022年度実績）

有償契約
300社以上



AI活用のレベルが高いため、自動巡回が高精度で範囲が広い

例：AIによるフォーム入力値の判断処理

課題

フォーム入力は正しい値を入力する必要がある。
間違えると、**入力エラーとなり遷移できず診断が進まない...**

AeyeScanなら、
正確に入力値を推測して巡回！

！ココがポイント

名前や住所など決まった項目だけでなく、
どんな項目にも対応！

例えば

-  クレジットカード
-  画像アップロード

フォームを自動認識しラベル化

登録フォーム

姓名

郵便番号

住所

電話番号

メールアドレス

確認する →

自動認識したラベル(赤枠)に応じ
適切な入力値を設定

姓名
姓名(カタカナ)
姓名(ひらがな)
姓
名
姓(カタカナ)
名(カタカナ)
姓(ひらがな)
名(ひらがな)

正常遷移

適切な値を入力

登録フォーム

姓名 巡回 太郎

郵便番号 000-0000

住所 東京都 江東区...

電話番号 03-0000-0000

メールアドレス taro@example.com

確定 →

生成AIを使えば、巡回はここまで進化できる

認識AIができること

画面上の入力フォームのラベル（氏名など）を
認識AIが判断することでフォームに入力する

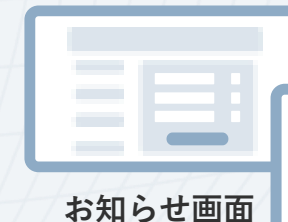


入力フォームのラベル



生成AIができること

生成AIを使うことで、人が画面を見るように
「これは商品画面」「これはお知らせ画面」と
判断できる！



入力フォーム



生成AIの活用による高度な自動化を実現

生成AI機能

1 診断設定がさらにカンタンに

- ・フリーフォーマットでの指示



特許 第7320211号

2 巡回がより柔軟に進化

- ・多言語対応
- ・フリーフォーマットでの指示
- ・画面の自動類似判定



特許 第7348698号

4 高度なレポート出力も可能に

- ・診断結果を元に総評を生成



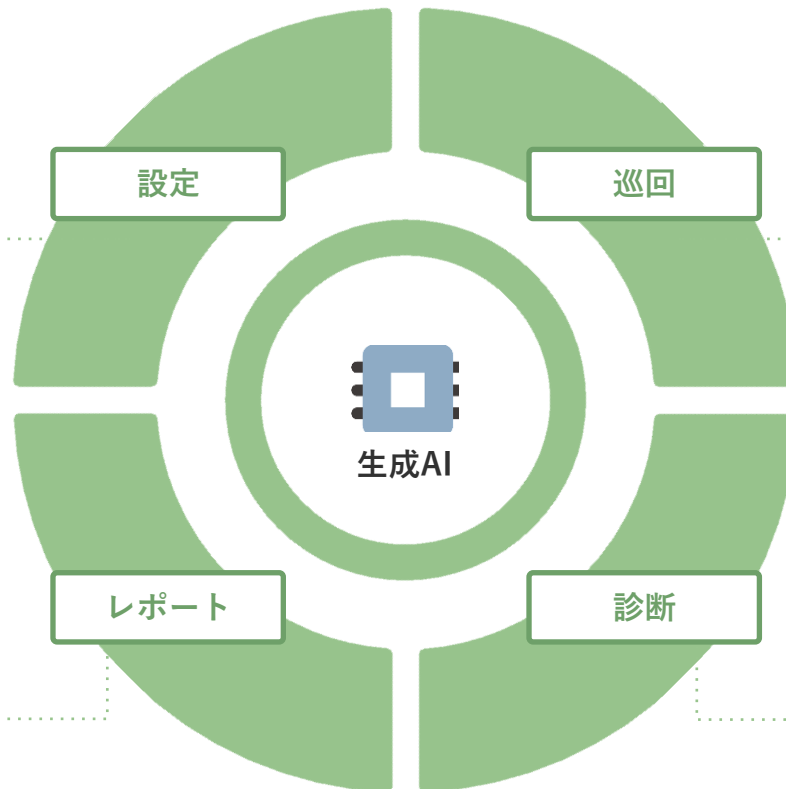
特許 第7320211号

3 手動で診断していた項目にも対応

- ・パラメータの用途を推測
- ・セッションIDの規則性を解析



特許 第7344614号



Demonstration

デモ

ツール活用による「脆弱性診断の自動化」で解決！

導入事例紹介 カプコン 様

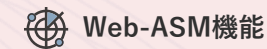


「外部ベンダーに依頼する場合は診断開始まで1ヶ月以上かかっていたのに対し、AeyeScanでは2～3日程度で診断を終えることができます。

以前までは追加コストの発生を回避するため、なるべく再診断にならないように事前準備を入念に行う必要がありましたが、AeyeScanであれば気軽に診断を行うことができるため、とりあえず診断してみようという意思決定ができるようになりました。

事前準備にかかっていた工数は以前と比べて1/10近くになっています。

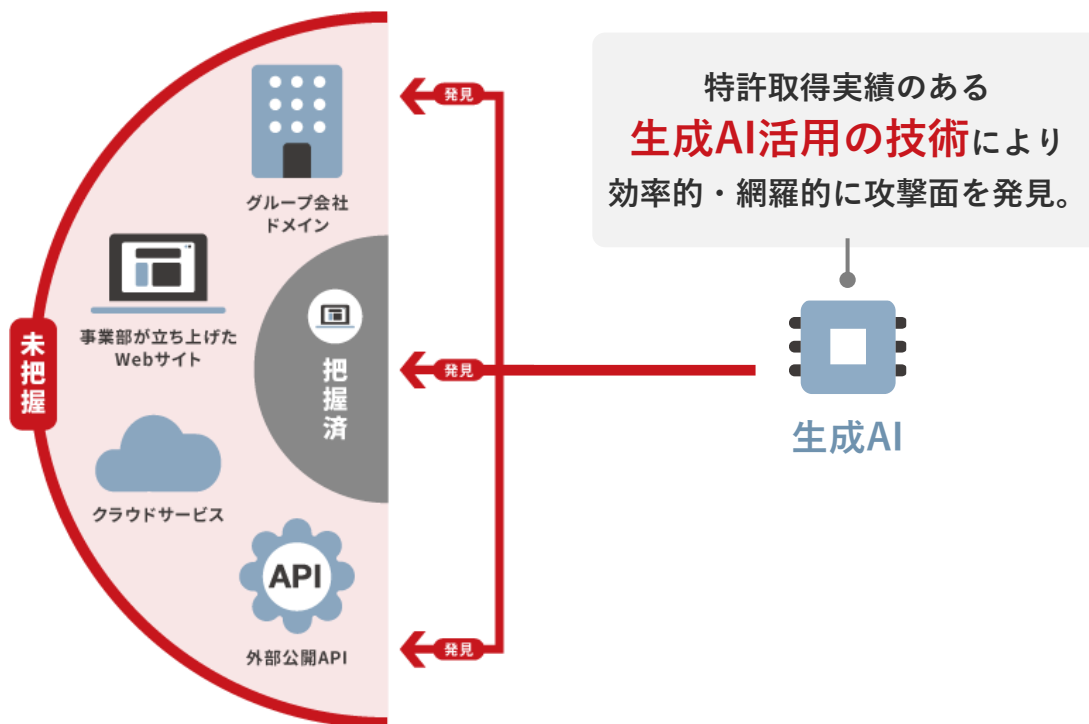
生成AI活用で、工数をかけずにWeb-ASMを実現



Web-ASMとは？

未把握な攻撃面の継続的な発見・リスク評価※

※リスク評価：AeyeScanのスク্যানによる



Web-ASMの実施ステップ

1

攻撃面の
発見



Web-ASM機能

自社が保有している
ドメイン一覧を抽出

2

攻撃面の
情報収集



自動巡回

未把握のドメインを
巡回対象に追加

3

攻撃面の
リスク評価



脆弱性診断

管理対象の全ドメインに
脆弱性診断を実施

AeyeScan ひとつで、

より網羅的な脆弱性診断とリスクマネジメントが可能に！

| まとめ

義務化したWeb脆弱性診断を適切な頻度で行うべく

ツール活用による 「自動化」 に、
積極的に取り組んでいきましょう！



AeyeScanの導入を検討してみませんか？

操作性の確認、実際に利用してみたい方へ

AeyeScan の 無料トライアル

トライアルにかかる費用は不要。実際の操作性はどうか？
またどのように脆弱性が発見されるのか？
などの疑問は無料トライアルで解消しましょう。

無料トライアルの申し込み



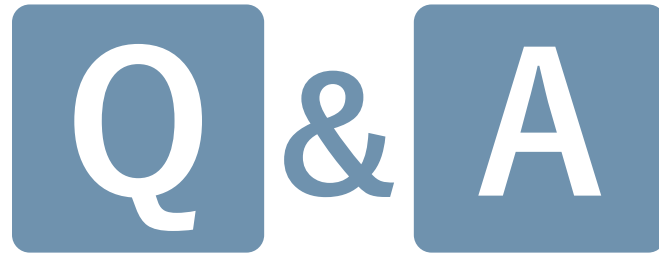
お見積りの希望・導入をご検討している方へ


AeyeScan への お問い合わせ

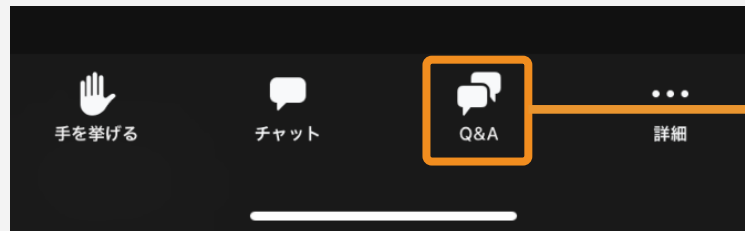
お見積りの希望・導入をご検討してくださっている方は
お問い合わせフォームよりご連絡ください。
当日もしくは遅くとも翌営業日にはご連絡を差し上げます。

お問い合わせフォーム





 お気軽にご質問ください



こちらから質問をお送りください

AeyeScanを実際に操作してみませんか？



もっと詳しく知りたい方向け

 **AeyeScan**を体験できる

ハンズオン

“わからないまま始める”を
なくすセミナー

期間限定アーカイブ配信

／ 1回診断ただで安心していませんか？ ／

義務化が始まった Web脆弱性診断の

ベストな頻度とは

2025

4.10

LIVE リアルタイム配信

木 16:00 - 16:30

アーカイブ配信

4.30 水 8:00

- 5.2 金 22:00



菅森 俊樹

株式会社エーアイセキュリティラボ
マネージャー

AeyeSecurityLab

次

回

予

告

脆弱性診断の “内製化”を加速せよ！

5ステップで構築する実践フレームワーク

2025

4.17

LIVE リアルタイム配信

木 14:00 - 14:30

アーカイブ配信

4.30 水 8:00

- 5.2 金 22:00

AeyeSecurityLab

株式会社エーアイセキュリティラボ
事業企画部ディレクター

阿部 一真

アンケートにご回答いただくと、
**「貴社のECサイトは大丈夫？
脆弱性対策義務化対応度チェックシート」**
ならびにウェビナー資料をプレゼントいたします。
ぜひ、ご協力よろしくお願いいたします！





AeyeScan

セキュリティに、確かな答えを。